

ACUMMO

あむも

あなたの街の鍼灸 “はりきゅう”

女性が安心して相談できる 女性鍼灸師の治療院

No. 10

本号のACUMMOから、新たに「あなたの街の鍼灸・はりきゅう」というテーマで、鍼灸を知らない方や、鍼灸って聞いたことはあるけどイメージが湧かない方、興味はあるけど一歩踏み出せないという方などに、あなたの街の近くにこんな鍼灸をやっている先生がいますよということをお伝えしていきたいと思っています。今回は、神奈川県内で女性に寄り添った治療院を開いて3年目と28年目のお二人の女性開業鍼灸師の先生にお話をうかがいたいと思います。

【平岡】 それでは、まず簡単に自己紹介をお願いします。

【佐藤】 厚木市飯山で女性と子ども専門の「はりきゅうPOCKE」を開業している佐藤由紀子と申します。出張専門で開業して5年、今の飯山に来院して3年になります。マルシェやお灸教室が好きな鍼灸師です。

【米山】 小田原市東町で「ビッグママ治療室」を開いている米山明子です。開業してもう28年になります。よろしくお願いします。

【平岡】 はじめにお二人のお人柄や歴史を探るために、どうして鍼灸学校へ行き、治療院を開くに至ったのかをお聞きしたいと思います。お二人が鍼灸

師になろうと思ったきっかけは何だったのでしょうか？



Zoomでのインタビュー風景

【佐藤】 私が初めて興味を持ったのは、大学の頃に腰を痛めて整骨院に行ったときでした。大学は医療系ではない学部だったのですが、そのときから「身体をケアする」という仕事に興味を持ち始めて、スポーツトレーナーや理学療法士など色々調べていたときの一つに鍼灸師がありました。調べていくと、鍼灸は肩こりとか腰痛とかだけでなく、体質や体の内面にもアプローチできることを知りました。私自身アトピーがひどかったので、そいつのも改善できるのかなと思いました。あと実はその時期にたまたま米山先生のホームページも見していたんです。

【米山】 ええ、そつなの？！

【佐藤】 なので本日のお話をいただいたとき、米山先生が一緒だと聞いてすごく驚きました。地元の神奈川で米

山先生のような方がいると知ったことは、鍼灸の道に進む大きな後押しになりました。痛みの治療もできて、婦人科疾患も診られて、鍼灸なら色々なことができるのではないかなと思うようになり、鍼灸師になろうと決めました。

【米山】 私は、実ははじめ鍼灸師になることは想像もしていなかったんです（笑）。30歳のときに小さい子どもが二人いて子育て奮闘中、この時期の女性って勉強したい病にかかる気がするんですよ。私もそうでした。なにか身体のことを勉強してみたいと思い、家の周りを見回したら近くに鍼灸学校があり入学しました。入ってみたら、西洋医学のことも東洋医学のこともいっぱい勉強ができて大満足でした。これが私の鍼灸、東洋医学の世界への入り口でした。

【平岡】 はじめから鍼灸師を目指して鍼灸学校に行かれた佐藤先生と、身体のことを学びたいから学校に行かれた米山先生で対照的ですね。では、鍼灸学校を卒業して資格を取られてから治療院を開院するまでの話をお聞かせください。

【佐藤】 卒業した後は整骨院で働きしました。その中で、女性の患者さんの施術を重ねていくと、「実は…」と不妊や産後の悩みなど女性ならではの相談

をいただくことが増えていきました。隣のベッドとは仕切りがありますがどうしても会話が少し漏れてしまい相談しやすい環境とはいえない。それで開業したいという気持ちがあつた。増していきました。さらにちょうどその時期にプライベートで離婚をしたこともあり、子育てしながらシングルマザーとして雇われて働くには時間の融通を効かせるのが難しくなり、それで急に開業したという感じでした。

【平岡】子育てや離婚という大きなライフステージの転換の中で開業という選択がぴったりはまったんですね。米山先生の卒業後から開業まではいかがでしたか？

【米山】私は卒業した後、それまでお世話になった方々に「免許取りました」とご挨拶の葉書を出しました。そうしたら「マッサージに来て」「治療に来て」と声をかけていただいたため開業届けをすぐに出しました。その後、さらに学ぶために東海大学大磯病院の東洋医学科研究生として3年間過ごしたのですが、そのころに往診していた方々から「先生の治療院で治療を受けたい」という声をいただくようになっていました。ちょうど自宅を建てるタイミングと重なり、自宅に治療院のスペースをつくり開業したという流れでした。

【佐藤】コンセプトは「女性と子どもの保健室のような場所」です。自分が行きたいと思う治療院にしたいので、女性が安心できる治療院になるように頑張っています。鍼灸院は「ちょっと暗い」とか「あまり綺麗じゃない」とかのイメージがあるようなので、明るく清潔感があつて、お花が飾ってあったりなど女性の居心地の良さを意識しています。



はりきゅう POKKE

【平岡】「鍼灸院」って言われると長い白髪のおじいちゃん先生がやっているイメージがあるのかもしれませんが（笑）。米山先生はいかがでしょう？

【米山】私は色々と東洋医学など勉強していた中で、自分の受けた治療は「今日膝が痛いから膝を治療する」というものではなくて、自分の体がより健やかになる方向性を教えてくれたり、自分の人生を応援してくれたりするような治療を受けたいなと考えるようになり、そんな場として治療院を作

りました。実際に私自身が自分の治療院で治療を受けたくなったことが、その後スタッフを雇うきっかけになったことです。



ビッグママ治療室

【平岡】次は、実際の患者さんが先生方の治療院を知って施術を受けるまでの流れを教えてください。

【佐藤】うちの患者さんはブログとかインスタグラムで知って、ホームページを探してくださることが多いです。ホームページからLINE登録ができるので、LINEで予約のやり取りをしています。最近の若い方だとインスタグラムを見てDM（ダイレクトメッセージ）を送ってくださることもあります。インスタグラムは若い方には入りやすいのかなと思っているのですが色々な写真や情報などアップして治療院や私の雰囲気を感じてもらえるようにしています。

【平岡】SNSも上手に活用されているんですね。実際に予約を取ってから施術までどんな流れですか？

【佐藤】特に必要な持ち物はないので予約日に来院していただきます。最初に問診票を書いていただいた後、カウンセリングをして、鍼灸がどんなものかや治療後のことなども併せて説明します。その後、施術着に着替えていただき、脈診や舌診、腹診など身体を診せていただいてから治療を始めます。全体の時間としては、カウンセリングに30分、鍼灸治療に1時間で合わせて1時間半くらいです。お子様の場合はもう少し短く30分程度です。

【平岡】なるほど、米山先生はいかがですか？

【米山】最近の患者さんは、自分でお灸やセルフケアをされている方が、もう少しきちんとやりたいからとか、しっかりと身体を診てほしいからと言う方が多い感じがします。また患者さんのご家族がいらつしやることも多いです。

【平岡】予約から施術までの流れはいかがでしょう？

【米山】予約の後にはご自宅でゆっくり予約票をご記入いただき、初診時にお持ちいただきます。あらかじめ記入いただけない場合は、30分くらい早めに来院していただき書いてもらいます。はじめに30分ほどお話をつかがい、その後、ベッドに寝ていただき体表観察をして東洋医学的な情報を集め、その情報に基づきご自身の状況を説明し、話し合いをさせていただきます。

その後、改めて仕切り直して治療が始まる感じでした。

【平岡】どんな患者さんが多くいらっしゃるのでしょうか？またどんな方に来ていただきたいですか？

【佐藤】一番多いのは40、50代の女性です。お子さんが大きくなってやっと自分にお金と時間をかけられるようになったという方や、不妊治療のためにいらつしやる方が多いです。来ていただきたいのは、女性と子どもならどんなでもです。婦人科の悩み以外でも、どこかが痛いとかも大歓迎です。鍼灸を知っていたら、続けていると調子がいいなと感じていただいて、そこからご家族や知人などに広まってほしいなと思っています。

【平岡】米山先生はいかがでしたでしょうか？

【米山】はじめの頃は葉書を送った知り合いや研修などで知り合った知人などが多く、色々試させてくれて勉強させていただきました。そしてだんだんと人づてに増えていったような感じです。私はかなり早くからホームページを作り、症例などの情報を出していたのでネット経由の予約も増えていきました。また、症状に拘わらずご自身の生命力をあげていただくことを目標とした治療をしていくうちに、自然と妊娠を望む方の治療が多くなり、不妊治療を数多く手掛けるようになりました。さらに、治療効果を上げていると感じる不

妊治療の病院を患者さんにお勧めしたりしていたら、逆にその病院から講演のお誘いをいただいたり、パンフレットを置かせていただいたりなどのつながりができたりもしました。今いらしている患者さんは半分くらいが不妊治療からみの方ですね。

【平岡】初めての患者さんによく言われることはありますか？

【佐藤】鍼が初めてだと色々わからず痛くないかなど不安がある方はいらつしやいますが、終わってみると「思ったほど全然痛くなかった」「軽くなった」「スッカリして帰れる」など言ってくれます。逆にもっと強くしてという方もいらつしやいますが(笑)。お灸も「熱くなかった、温かかった」と言ってくれます。

【米山】「どうしてそんなにわかるんですか？」って言われます(笑)。もちろん問診票も見て、身体も診させてもらっているからですけどね。鍼灸施術の後は「からだが楽」とおっしゃる方が多くて嬉しいですね。

【平岡】最後の質問になりますが、今後のご活動の展望を教えてくださいませんか？

【佐藤】小児はりを頑張りたいと思っています。私自身の子育てにもとても役立っているのも、もっとお母さんやお父さんに広めていきたいです。長い目で見ると、小児はりを受けるお子さ

んが増えれば、大きくなっても鍼灸を受けに来てくれるのではと思います。それと、私は若い頃に生理不順で悩んだりしていたので、同じような悩みを抱える中高生に何か伝える場ができればと思っています。もっと多くの方に鍼灸の良さを知っていただき活用してほしいです。今は、初めての方にもわかりやすい資料を作ったり、お灸教室などご縁があった場所にパンフレットを置いていただいたり、児童館などに挨拶に行ったりとか、広げる活動を地道に続けていきたいと思っています。



佐藤由紀子先生

【米山】私は症例集をもっと書き上げ積み重ねていきたいと考えています。症例集は、おひとりおひとりを東洋医学の診方で読み解いた人生の物語です。東洋医学という道具を使って、患者さんのお話をつかがいお身体を拝見し心身のことを理解していくことの素晴らしい、健康における重要さを知っていただきたいです。過去があつて今がある。そしてそうあつて欲しい望ましい未来があるという物語をお伝えしていきたいです。そして皆さんの人生に東洋医学の物語が少しでも貢献でき

たら嬉しいです。



米山明子先生

【平岡】鍼灸や東洋医学はまだまだ一般にはよくわからないというイメージも多いかと思いますが、これをきっかけに人生をちょっと良くする助けとして活用していただければ嬉しく思います。本日はありがとうございました。

佐藤由紀子

厚木市出身、北海道鍼灸専門学校卒業。妊娠・出産・離婚を経て、2020年に「はりきゅうPOKKE」を厚木市飯山に開院。地元のマルシェへの出店、お灸教室、ヨリ講師など積極的に活動。

米山明子

2児を出産後、神奈川県衛生学園に入学、1995年から東海大学大磯病院 東洋医学科研究生として3年を過ごし、1999年に「ビッグママ治療室」を開院。書籍や論文の発表、不妊治療に関する講演など多数。

(インタビュー 平岡遼)

発行：公益社団法人神奈川県鍼灸師会

〒231-0002

横浜市中区海岸通4丁目21番

倉田ビル5階

電話 FAX TEL 045-228-8894 6

FAX 045-228-8897 9

発行日：令和5年3月25日

https://harikyuu-kanagawa.org/

粒

のちからで こりを緩和^{かんわ}！

今日もおつかれ、わたしのカラダ。

お疲れ気味の全ての女性に

家事に仕事にお疲れさま

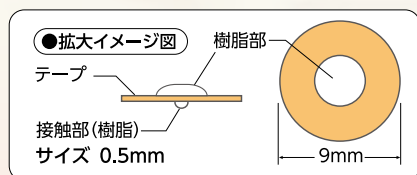
あなたの毎日の疲れにピタッとひとりはり

初めての方でも簡単にお使いいただける親切設計で

ツボを優しく刺激して、こりを緩和

さあ、明日もまた頑張りましょう

はりが苦手な方にも、
抵抗なくご使用いただけます。



目立たない！

テープ径が9mmと
小さいのでかぶれにくく
目立ちません。



※効果には個人差があります

使い方も簡単！

シールを剥がすだけで
簡単に貼れます。
一枚のテープに樹脂を固定
しているので、接触部が取れる
心配はほとんどありません。

肌に優しい！

接触部が樹脂になり、
金属アレルギーの方にも
ご使用いただけます。



一般医療機器【家庭用貼付型接触粒】※滅菌済み
届出番号:22B1X00006000005

のちからで こりを緩和^{かんわ}！



■フリーダイヤル（無料通話）はこちらから ■詳しい情報は当社 WEB サイトでもご覧頂けます

0120-100890 <https://www.seirin.jp/>

【製造販売者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町 1007-1
【TEL】054-365-5700 【FAX】054-365-5139

■販売店